

- まだパソコンは故障したり等の修理状況知識に問題がある。
- E-mailが確実に着信しているか不安
- 情報ソースの不備（日本国内での日本語での）  
対策：医学図書館並みの情報ソースをつくること
- 情報整理で伝達したい情報の的指摘が乏しい。
- 不正確、返事が来れば安心だが、
- 間違えて送ってしまうことがある。  
対策：必ず返事をもらう
- まだ、使いなれぬ
- ウィルス
- 利用者が少ない
- 情報過多、評価がむずかしい。
- まだ、はっきりとはわからぬ
- 使っていないので詳細不明
- まだ、インターネットにしたばかりで、分からない。
- 紹介先は、できる、できないということは無いと思う。紹介先の紹介をする義務があると思うし、決めるのは患者本人である。
- コンピューターウィルスが心配

問11. 日本医師会、神奈川県医師会および県下の一部郡市医師会でホームページを開設していますが、どのくらい閲覧していますか。

(問5. で使っていると答えた人について)

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 週に1回以上。   | 3.7%  |
| 2. 月に数回程度。   | 16.0% |
| 3. あまり閲覧しない。 | 78.5% |
| 4. 無回答       | 1.8%  |

問12. 厚生省がホームページを開設していますが、どのくらい閲覧していますか。

(問5. で使っていると答えた人について)

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 週に1回以上。   | 4.6%  |
| 2. 月に数回程度。   | 20.0% |
| 3. あまり閲覧しない。 | 73.5% |
| 4. 無回答       | 1.9%  |

問13. 他のホームページについては、どのくらい閲覧していますか。

(問5. で「使っている」と答えた人について)

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 週に1回以上。   | 39.2% |
| 2. 月に数回程度。   | 31.4% |
| 3. あまり閲覧しない。 | 26.9% |
| 4. 無回答       | 2.5%  |

問14. 電子メールをどのくらい使われていますか。

(問5. で「使っている」と答えた人について)

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 週に1回以上。   | 43.4% |
| 2. 月に数回程度。   | 21.8% |
| 3. あまり使用しない。 | 32.7% |
| 4. 無回答       | 2.1%  |

問15. 神奈川県医師会員であれば、“kanagawa.med.or.jp”を使用した電子メールアドレス (medメール転送サービス) を無料で取得できることをご存じですか。

(回答者全員に対する割合)

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. すで取得している。       | 6.3%  |
| 2. 知っているが、取得していない。 | 20.2% |
| 3. 知らない。           | 63.5% |
| 4. 無回答             | 10.0% |

問16. 県医師会からの情報伝達手段として、定期的には会報やFAXニュースを、その他の場合には郡市医師会や会員宛の郵便・FAX等を用いていますが、

1. インターネットのホームページ等で、もっと情報を流すべきである。

21.3% (回答者全員に対する割合)

- |              |       |
|--------------|-------|
| 2. 現状のままでよい。 | 35.5% |
| 3. 分からない。    | 31.1% |
| 4. 無回答       | 12.0% |

問17. 先生の病医院に勤務されている医師のうち、何人くらいインターネットを使っていますか。(勤務医がいない場合は0を記入、分からない場合は不明に○印をお願いします。)

2,026 人中 827 人

問18. 自院の情報を県または郡市医師会のホームページ等で公開してもよいとお考えですか。

(回答者全員に対する割合)

1. すでに公開している。	3.3%
2. 積極的に公開したい。	6.2%
3. 公開してもよい。	49.7%
4. 公開しない。	20.1%
5. 無回答	20.7%

問19. 自院の情報を公開したり、公開しようとする場合、その内容を選んでください。  
 (複数回答、1～10は医療法69条で認められた広告し得る事項、11～17は1998年9月1日適用の厚生大臣告知で追加された事項です。)

(回答者全員に対する割合)

1. 病院・診療所の名称	95.4%
2. 電話番号	93.3%
3. 所在地	93.6%
4. 診療科名	94.1%
5. 医師又は歯科医師の氏名	78.1%
6. 診療(休診)日	90.0%
7. 診療時間	91.4%
8. 入院設備の有無	59.3%
9. 療養型病床群の有無	23.2%
10. 紹介をすることができる他の病院又は診療所の名称	33.6%
11. 施設基準関係(緩和ケア病棟、開放型病院等)	10.7%
12. 在宅医療の実施	24.3%
13. 従業員数	13.2%
14. 病床数・病室数	14.9%
15. 病室・機能訓練室・談話室・食堂・浴室に関する事項	10.5%
16. 病院と同一敷地内に併設されている施設の名称	9.6%
17. 差額ベッドの数とその料金等	8.8%
18. 地図	51.3%
19. FAX番号	37.0%
20. その他	
○予約制である旨。	
○専門分野の研究発表の内容。	
○意思なし。	
○診療内容。	
○宣伝の医師法に触れる疑いあり。法律にはよくよく注意のこと。	
○専門又は力を入れている疾患。	

- 広告しうる情報はすべて。
- Eメールアドレス。
- 人間ドック、健診内容。
- 自院の特色。
- 専門分野の紹介。
- 医療情報。
- 外国語への対応。
- 病気のQ&A。
- 自院のセールスポイント、予約性診療の有無。
- 近く診療所閉鎖予定。
- 専門に関する検査の実施項目など。
- 勤務医はめまい外来が専門。
- 救急医療受診状況、分娩部情報。
- 営業案内（在宅リハ、障害者デイサービス、療後施設）。
- 検討したことはない。
- 病院、医院でないので、答えにくい。
- リンクによるネットワークをつくるべきです。
- インターネット、電子メール等名前は知っているが、操作が億劫でつないでいませんが、近いうちにつないでみようかと思っていますが、間違えたり、間違い電話のようなことにならないかと心配である。
- 糖尿病教室等の開催、患者会の案内。
- 外来透析室。
- 無料で公開している実演離乳食指導などの日程。
- 専門領域。
- 医院の特徴。
- 診療科の特徴。
- 上記は院長の私見。理事会はどう考えるか聞いていない。
- 適切な質問に答える姿勢。
- 出身大学、診療の特徴。
- アルコール医療についての全般的な情報。
- 外観写真等。
- 実施可能な診療内容。
- 医師の経歴。
- 診療内容、特色。
- 医院の設備、特徴。
- 特色。

- クラブ活動、催し物、糖尿病教室など。
- 認定医・専門医等の資格。
- 外国語の可否、特定医師の在否等。
- 専門診療及びその内容
- 治療に関するQ&A
- 診療の特長、特殊性について
- 規制緩和されないので、余り情報が得られないと思う。出身大学、学位、留学先、アピールしたい点など。
- 駐車上の有無ほか
- パンフレットと同様の内容をホームページで公開
- 検査設備、MR、CT等
- 外来診療、電話予約案内、予防注射、育児相談
- 産業医、健康管理に関する問題
- 専門医、認定医資格
- 診療所の特長
- ①ホームページが商業ベースとなるような者は何らかの方法で医師会が指導を行う必要がある。
- ②間違った情報などは患者さんのみならず社会に不安を与えることもあるので、監視する事が重要であると考えます。
- 病床充足状態
- 自己PR
- 自院のホームページのURL
- 医療器械、検査項目

### Ⅲ コンピュータの西暦2000年問題について

問20. 日本医師会でもホームページ（メンバーズルーム）において対応マニュアルを掲載しておりますが、コンピュータの西暦2000年問題についてどうされていますか。

（回答者全員に対する割合）

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 1. すでに対応している。              | 17.7% |
| 2. 影響がでる可能性があるが、まだ対応していない。 | 12.2% |
| 3. 影響が出るか出ないか分からない。        | 13.9% |
| 4. 知っているが、対応の必要はないと思う。     | 9.9%  |
| 5. 分からない。                  | 23.4% |
| 6. 無回答                     | 22.9% |

## 自由意見

- 早めに医師会でインターネット網を開設してもらいたい。
- 医師会推薦のOCNはアフターケアが非常に悪い。他の業者も推薦して競争させないと困るのはコンピューターを入れた会員です。
- 積極的な気持ちがなくなり申し訳ありません
- メールが来れば、必ず目を通す。しかし、コンピューター画面を見ない日は少なからずあるはずだ。インターネット参加を義務づける様な方向にはいかない様に願う。
- 多少興味はあるが現在の自分に必要不可欠なものでないので様子を見ている。コンピューター等に関わっている心理的・時間的負担は、相当なものだと思われる。が、経験が全くないので、断言できないが。
- 情報ばかりが多くてもそれを有効利用するのは人で、その能力は各個人、亦限界もあり今後検討する必要がある
- 高価なパソコン買い換えの情報の皆無。医師会という所は、自動車（医師使用の中古車は信頼度が高い）の交換と同じく、パソコン交換の報道が皆無。月に5千枚のレセプトの病院事務と月100枚のレセプトの診療所長とではその目的と考え方が全く違う。製造元のいい加減で、強引な販売作戦で、機種に複雑、簡単、高価、廉価品の区別がない。医師会雑誌で、細かい報道を流すべきである（質問の方法がなくて困るが）。現代の救急医療当番の如く皮膚科医、眼科医が危篤の乳児をみさせられているのは悲劇的。得意なのは会長で会員は困り果てる。インターネットも同じ様になるおそれがある。今後、同じ医師会員対策でも、熟練した者と、未熟な者にと、同じにして、後者のプライドを傷つけるのは好ましくない。未熟な者は質問を抱えている。世の中の情勢が、インターネット使用を迫ってくる以上は、110番の如く、熟練した医師会員がTELかFAXで解答、解説する機関を設置すべきである。
- 医療機関の詳細な情報をデータベースとして整備しておく必要がある
- FAXは頻回に来るが、必要なものが本当に少なく興味のある者は選択的に引き出せるといいと思う。B4版で7枚のFAXは巻物のようになってあまり読む気がしないので、一覧表を送ってくれてそれで自分の興味あるものを選択する方が経費の面でもいい事と思う。

それならインターネットを導入しようと思う。

○要するにあまり熱心ではないのです。

○医師会のホームページがわかりません。

○インターネットはあくまで媒体としての一手段にすぎない（英語で話せるの如し）。セキュリティの問題もあってあくまでサブの手段として考えておくべきものと思う。

○インターネット使用している会員には希望にて、会報や伝達事項等をメールにて発信してほしい。コスト面でもよいと思われませんが、いかがでしょうか。

○パソコン講座を開設しては。

○コンピューターは10年も前から毎日使っていますが、インターネット用のソフトを持っていません。

○現在、不要機械等の産業廃棄物の量が加速的に増え続け、環境破壊も加速的に進んでいます。マルチメディアに不和雷同するより無用のものを少しずつ切り捨てる事の方が大切ではないか。便利さばかり追い求めるのはやめようではないか。

○21世紀は通信ハイウェイ時代で病院、診療連携を早く完成するようPRしてください。

- 1. レセプト作成用パソコンを採用して8年目
- 2. 研究用情報収集整理のためのパソコン採用準備中
- 3. 2の第2段階でインターネット使用を考えている。

○私は医師のメール番号komogawa.med.or.jpを使っていません。この番号からは使用者である私が 医師であることが特定できてしまいます。さまざまなリスクから身を守るために自分自身の番号を使っていますが、この番号（アドレス）の中に私自身の名前を入れておりません。

○県医HPの更新が遅すぎると思う。（委員会報告等）

○FAXメールは紙の無駄になるので希望者には電子メールで送るようにしてほしい。

- 将来的には勉強してコンピューターを導入したいと考えている。そのときにはよろしく  
お願いいたします。できたら、医師会でこれから導入する人のために有料でもよいから  
コンピューターの講習会をやっていただきたい。
- 医師会の団体加入などで、プロバイダー料、通信費が安くなる方法がないか。
- 新しいパソコンに買い換えたら積極的に利用したいと思います。
- ドル凋落の方向にある中、日本丸の舳先が論議されている。インターネットも医師会丸  
の舳先論議と切り離しては、NTTの株上昇に貢献することになる。
- 法律面の整備ができたら、インターネットに接続しようと思っている。
- インターネットの時代です。時代におくれないようにしたい。しかしそれを悪用されな  
い様注意すること。
- インターネットはあくまで情報を得ようとする側の意志がないと伝達されない特徴があ  
り、情報又は伝達内容によっては、徹底した連絡、情報伝達ができない点を十分考慮す  
る必要あり。
- 問16に関連して、医師会、会員の情報伝達手段として、インターネット又は、イントラ  
ネットが今のところ最も有効、有益なものだとの認識はあるのですが、若い会員は兎も  
角、私のような年齢の会員ではまだ自分でコンピューターを駆使できる人は少ないので  
は？ この現状では、情報伝達も片手落ち、不徹底、不公平なものになりかねません。  
早急に会員の間コンピューター利用者数を増やす対策が必要だと思います。レセコン  
は必要に迫られて10年以上前から導入していますが、（従業員に扱ってもらっています。）  
そのコンピューターを他の目的には、活用していない。あるいは別に個人用にも  
う1台買ってもよいと思いながら、踏み出せないでいる理由は 色々な所から 吹き込  
まれる知識では、コンピューターの利用法が実に様々あって、自分が何を目的に使っ  
たら良いのか、どの方向に踏み出せば良いのか、どの様な機種を選べば、その目的に叶  
うのか・・・等々、頭の中がゴチャゴチャになっているからです。こういう状況は私だけ  
ではないと思います。そこで、何はともあれ、医師会、会員の情報伝達のためだけのコ  
ンピューター利用を広く会員に呼びかけ、啓発して頂いたら、よいのでは、と考えます。
- インターネット情報は極めて、個別性の強いものであるので、余り、組織等が関わらな  
いのが、原則と考えている。



- インターネット等、非常に興味があるが、機械に疎く、どのようにしたらよいかわからない。医師会主催で講座などもうけてくだされば、助かるのだが。
- イントラネットを推進します。
- インターネットについては勉強していないので、何もわかりません。
- ネットワーク、名簿を作成してはどうでしょうか。県レベルのイントラネットは可能ですか？可能なら進めたい者です。私は初心者です。
- 今のところFAXでよいと思っている。専門的、雑誌（医学）でよいのではないかと考えている。
- 医師会でインターネットの整備を考えていますが、会員の関心が極めて低くうまくいきません。会員全体のインターネットの重要性をPRしてくささい。
- インターネットの利便さは理解できるが、現状では利用範囲が個人的な問題にかなり「限定され、インターネットでもなくても現在のままだでもよいのではという気がします。「宝の持ち腐れ」的な事が起こるような気がします。
- 情報システム連絡会をネット上で開き、電子会議までできるようにするべきです。県医師会の執行部あてに会員からの電子メールがどんどん入ってくるようにしておくと思います。そのためのメーリングリストの作成が必要になります。
- 目下、医師会および神奈川県医師会のHPから得られる情報は少なく、つまらない。米国の医師会や学会でやっている様な内容豊富な教育的なものにして欲しい。
- 個人的に使用するためにのみ使う。医師の業務用としての使用は今の所考えていない。
- コンピューターは持っている。
- Hard、softの進歩、2000年問題等色々ありますが、私を含め家族もパソコンを使ってインターネットの利用、電子メールの送信を考えております。しかし、いざ機種を選定に入るとブレーキがかかり、買い控えてしまいます。半年より来年以降に購入し、利用することになると思います。

- 老齢のため新しい器具等に興味がありませんので、お許してください。
- 会員向けの情報伝達公開は充実させてほしい。医師会名簿や各種情報などホームページにアクセスできるセキュリティはつけてほしい
- 自院情報を県民向けに公開する方向に考えていただきたいと思います。
- まだまだ取り入れないでしょう。
- ①メールアドレス位は公開してほしい。  
②早くインターネットで情報が得たいが医師会としてあまり明らかになっていないので直接、医学情報、個人的に厚生省の情報へアクセスしてメールに入るようにしてあります。
- 必要に応じて子供たちに命じています。
- 若い人のようにはいきませんが、努力しております。
- S69年3月、心筋梗塞に罹患、ACバイパス手術を受けて以来、心臓は安定しているが、バイパスに用いる静脈を取り出した下腿に後遺症があって体調がすぐれず、問3に記入しましたように本年1月1日より開設者を長男と交替しましたので、主としての業務は長男が担当しておりますので、そのようにご了承ください。調意の回答にならず失礼いたします。
- 患者紹介の際、レントゲン所見などはデジタルカメラで撮った像がなかなか良いのでインターネットで送りたいと考えているが、相手の病院が利用可能かどうかわからないので、接続可能か否かについてオープンに、データがほしい。E-mail adress集がほしいです。
- 対話のないインフォメーションが拡大していくことは決して良いとは思わない。
- medメール伝送サービスについてどこを見れば、使い方が書いてあるか案内してほしい。
- kanagawa.med.or.jpのアドレスを取得したいが、どのようにすればよいのか。インターネットは始めたばかりで、また、ほとんど利用していない。

- インターネットの便利さに興味はありますが、簡単に機械の操作に不安があります。
- パソコンはもっと簡単にならないかといつも思っております。医師は患者にわかるように専門語は使わずに、説明しなければなりません。パソコン業界も、専門語を使わないで一般の人がわかる言葉で説明してもらいたいとつねづね思っております。
- Securityの問題があり、余り勝手（自由）な意見がいえない。医者だけの思いも思い切りぶつけて討論してみたいときもある。
- インターネット時代に遅れてしまった医師でこのまま人生を終わりたい。
- インターネット初心者の医師ですのでそのつもりで判断してください。
- 能率の良いこと、早いことに疑問を持っています。もっとゆっくり生きて行きたいと思えます。
- 西暦2000年問題で対応された所らしい機械が市場に出回るようになってから機械の購入を考えようと思っている。
- 単位時間当たりの情報量および経費の点からもFAX（画像）よりもe-mailやHPの方がはるかに有利です。例えば医師会FAXニュース4面はFAX(TEL)ならば3分は必要ですが、e-mailならば1分もいらない上、どう報送信の費用も、一カ所宛と同じですみます。（FAXだと相手先数×10～20円なので、県医師会だと、1回に数万円必要ですが、メールだと10円くらいで済む。自前サーバならば、事実上0円です。）（簡単なもので良いですから）診療所検索のページを医師会単位で設けるべきです。現在、県下では保険医協会さんが、最大なのですが、未完成みたいなので。医協検索<http://www.bekkoame.or.jp/~ontop/kanto/kanagawaken/kanagawa.htm> <http://www1.doc-net.or.jp/~kanagawa/> <http://www.jah.or.jp/~gokinjo/search.html>
- 問5について、メールアドレスを無料で取得できるという事の内容を教えてください。医師会がプロバイダー業務を行っているのでしょうか？
- 一般診療所で使用しているコンピューターでは2000年問題は私自身としては関係ないと考えていますが、それが正解なのか不明。昨年度港北区医師会を通じ、市医師会に日医としてどう対応しているのか質問した所、本年1月、その対応としてこういう事を行っ

ているというマニュアルが手元に来ましたが、まづ、病院の対策で手一杯で日医はそこから始めているということでした。こういう問題は、コンピューターで、レセプトを作成している所では大変不安を持って日常の診療に当たっているのです、まづ、今のままでよい。いけないをはっきりさせる。いけない場合には、何をどうするべきか対応を早く会員に知らせて貰いたい。これは日医への要請です。

○まだ習いはじめでわからない。

○communication toolとしての価値は大きい。県医師会の委員会資料を事前に送っていただき、郡市医師会で問題点を検討できますので、意志決定が早くできます。現在の方法で1～2ヶ月遅れてしまう、厚生省やその他の団体と太刀打ちできません。県医の理事、委員会の方はE-mailを自由に操作できる必要があると思います。一度設定すればあとは簡単です。設定も現在では非常に簡単になっていますので、年齢に関係なく、可能と思います。設定は県医、各郡市医で保証すれば実現可能となります。

○インターネットの長所だけでなく、欠点も公開する事が大事。それが、利用するものの最低限のつとめでないでしょうか

○60歳のものでも入りやすい超初級者講習会を開いて頂きたい。

○神奈川県 県政センターで利用するハローFAX。FAX情報のうち発表メニューのうちの下記の情報は特に早く知りたい。(新聞発表の2日後でないとうからない情報が遅い)。保健予防課扱いの集団かぜ発生状況、腸管出血性大腸菌感染症の発生、HIV感染者の情報、商品衛生課扱いの食中毒の発生、コレラ等の発生ほかなどは新聞発表と同時又は前日に情報提供してほしい。これらの情報は医師会にはない。

○パソコンは家にあるのですが、目の疲れを感じて使うのをやめました。

○よくわからないが、このこと(2000年問題)がひっかかって、購入は2000年になってからがよいかと思案しています。

○インターネットの知識皆無。医師会等で教えて頂きたい。

○情報が正確、正当なものかの判断は誰がするのか。個人も自分の都合のよい情報のみ提供し合うのではかえって会員にとっても不利益になると考えます。

- パソコンがあれば、やってみたい。
- 環境問題等、紙の節約のため、積極的にインターネット等の使用が必要と考えています。
- 自宅でパソコンをやっている。各種の情報もホームページを開いて利用している。また、旅したシンガポールやアメリカに留学している学者などとE-mailをしている。しかし、医師会等での新しいメディアは敬遠している。これは、年齢のためかもしれない。極く近い将来は、各種情報の伝達をインターネットで行うべきである。FAXとともに自分の時間を他者に邪魔されることなく、できるからである。
- 日本語文献は無理な点があるでしょうが、少なくとも各種診断基準、治療基準など、厚生省研究班で決まっているようなものは、情報として組み込んでほしい。
- 院内に医療情報グループ（兼務）を組織し、ホームページのメンテナンス等を行っている。日々新たな情報を更新したり、メールに対する返答を行ったりの管理をする上でこのような体制、システムがどうしても必要である。
- 病院のCT, MRI等の画像を紹介元の開業医が閲覧できるようなシステムを、医師会が中心となって作ってほしい。よろしくお願いします。
- ワープロ・コンピューターなし。医療施設内にはテレビも置いていない。（患者待合室を含み）
- 次世代の人にまかせます。
- はっきり言ってよくわかりません。
- 私が使用しているものは、かなり、昔のものであり、今回のkanagawa.med.or.jpはフレームを使用しているらしく、閲覧できなくなりました。私はテキストファイルで十分でありますので、フレームは必要ないと思います。もう1点、私が所属している医師会は津久井郡ですが、津久井のスペルが間違っています。ツはTUではなくて、TSUです。ご訂正していただければ幸いです。
- インターネットは現在、気まぐれ趣味程度、中毒情報はuseful
- メールリストなどによる重要情報伝達システムを作ってほしい。

- 日本医師会でも国内外の専門分野の文献検索を容易に提供してください。
- 問15の内容及び取得方法を教えてほしい。
- 日本のコンピューターの普及が低いと思います。もっと、この便利な道具を使うようにしましょう。
- 業者が対応しますと言っているので、一任している。
- インターネット上での自院の公開の制限がどこまで認められているか等の規制範囲がわからない。
- 情報の選択、洗濯が重要であると思う。
- 気楽にできる相談相手が得られれば、と思う時がよくあります。
- 情報の時代が着々と進行しているという印象です。情報に振り回される傾向もあるでしょう。自分としてはこのようなことは好きではありません。静かな生活が、余裕のある生活がしたいと思います。時代に逆行する間違った考え方ですが、生来病弱に過ごしてきた故かもしれません。
- FAXニュース、22号までは届いているが、インターネット上では15号で遅れているように思われる。
- インターネットを始めるにあたり、業者や説明会などありましたら、教えてください。
- 当院ではインターネットを開設して間もないので、まだ充分利用するに至っておりません。
- 情報の量より質が大事。多くても判断ができなくなるだろう。自院の情報の公開としても得に何も無い。公開によっても患者が増えるとしてもかえって迷惑。患者同士の口コミのほうがありがたい。
- 折角、医師会のアドレスをいただいたのですが、2つのアドレスをどのように登録していいかわからず今の所、活用できておりません。よろしく願いいたします。

- インターネット等導入も医師会で検討中であるという事ですが、メンテナンスのシステムも充分作ってほしいと思います。
- オープンな医師会にしていくためには、インターネットのみならず、どんな通信手段でも情報取得できるようにすべきだと思います。
- 医師会の内容を公開してください。
- 若い頃は、機械いじりが好きだったが、年をとってからは、記憶力の低下とともにいじりたくてもいじれなくなった。
- まだインターネットを使い始めたばかりですから、利用度が低いですが、今後は積極的に利用したいと思います。
- コンピューターはあってもインターネットを利用する時間がない。
- 小生機械音痴でインターネットは解らず。子供が医院を継いでくれれば喜んで使用すると思う。
- 解らない。
- パソコンは診療に利用しておりますが、インターネットはこれから、勉強して利用したいと思います。
- よく分からないのは時代遅れかもしれませんが、やはりたっぷり説明の時間を作った方がいいと思います。
- 日医、県医の情報をメールで送るべきだ。
- 利便性はわかりますが、結局は自家薬籠とはいかないでしょう。そんな気がいたします。何かのきっかけか相当の覚悟が必要でしょうか。残念ながら、アンケートにお答えする資格がないということです。
- 現在、勉強中である。

## 資料 2

### インターネットによる医療機関情報公開に関する患者アンケート調査結果

回答者数 69人

#### I 医療情報の公開について

問1. 医療機関の情報公開に賛成の場合、公開する場としてもっとも望ましいものを選んでください。(1つだけ)

1. 厚生省のWebページ	30.4%
2. 医師会のWebページ	5.8%
3. 各医療機関のWebページ	29.1%
4. その他のWebページ	15.9%
5. インターネット以外	10.1%
無回答	8.7%

問2. 公開してほしい医療機関の情報の内容を選んでください。(複数回答、1～10は医療法69条で認められた広告し得る事項、11～17は1998年9月1日適用の厚生大臣告知で追加された事項、21～42は日本やアメリカでの統一された基準による評価の対象領域です。)

1. 病院・診療所の名称	92.8%
2. 電話番号	81.2%
3. 所在地	89.9%
4. 診療科名	89.9%
5. 医師又は歯科医師の氏名	72.5%
6. 診療(休診)日	84.1%
7. 診療時間	87.0%
8. 入院設備の有無	72.5%
9. 療養型病床群の有無	46.4%
10. 紹介をすることができる他の病院又は診療所の名称	65.2%
11. 施設基準関係(緩和ケア病棟、開放型病院等)	49.3%
12. 在宅医療の実施	59.4%
13. 従業員数	37.7%
14. 病床数・病室数	53.6%
15. 病室・機能訓練室・談話室・食堂・浴室に関する事項	65.2%



16. 病院と同一敷地内に併設されている施設の名称	49.3%
17. 差額ベッドの数とその料金等	66.7%
18. 地図	63.8%
19. 交通手段	76.8%
20. F A X 番号	66.7%
以下21. から42. の項目についての評価結果	
21. 病院の基本方針と中・長期計画	43.5%
22. 病院全体の管理体制	59.4%
23. 職員への教育・研修	42.0%
24. 病院の地域における役割についての認識	50.7%
25. 他施設との連携体制	52.2%
26. 救急医療活動	72.5%
27. 診療の質を確保するための基本的な活動	50.7%
28. 診療を支える各部門の機能	40.6%
29. 診療にかかわる安全管理	59.4%
30. 看護提供における理念と組織的基盤の整備	40.6%
31. 職員の能力開発や看護ケアのための環境整備	40.6%
32. 看護ケアの提供状況	50.7%
33. 患者さんの尊重・患者さんの権利の尊重	65.2%
34. 医療機関全体としての倫理	44.9%
35. プライバシーや利便性への配慮	63.8%
36. サービス改善の努力	53.6%
37. 患者さんと家族の方への健康教育	43.5%
38. 患者さんの安全への配慮	66.7%
39. 診察・検査・診断・治療の適切性	76.8%
40. 有能な職員を適切に確保・配置できる人事管理	18.8%
41. 財務管理、業務管理等の合理性と適切性	33.3%
42. 医療事故への対応	56.5%
43. その他	8.7%

○××科医ではなく、その中でもどのような疾患が専門か、あるいは学会で認定した認定医・指導医・専門医がいればその専門医の氏名と年齢、専門外来の開設状況

○障害を持つ人たちに対するサービス状況

- 新設の設備及び設備予定
- 患者及び家族への精神・金銭面での相談体制
- 特に特色のある診療科目及び内容
- 手話の出来る医師、手話の出来る看護婦の数
- 手話のできる・分かる医者、看護婦がいるかどうか
- 聾者でも手話通訳などの配慮があるかどうか
- 専門外来についての情報 大学病院等に行けば分かるのですが。  
聴覚障害者に対する対応（会計時・呼び出し時の対応）
- グレ電、Web端末、PHS、ナースコールなどの通信環境
- 患者等からの問い合わせや苦情と、それに対する病院の公式な回答を集積したページ。要検索機能
- 身体障害者、難病患者らをどこまで治療・処置できるかを公開してほしい。患者によっては、地域の病院は専門病院・大学病院等と、もっと連携をとって欲しい。
- 得意分野や専門分野／治療・手術成績など
- 専門あるいは得意とする疾患とそれにあたる医師名
- 患者からの感想

以下Ⅱ・Ⅲに記載したパーセンテージは、特に断らない場合、問3.又は問5.の回答結果からインターネットを利用していることが明白な61人（全回答者の88.4%）を母数としている。

## Ⅱ インターネットについて

問3. インターネットを何に使っていますか。(回答は三つまで)

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 1. 仕事                          | 65.6% |
| 2. 趣味                          | 59.0% |
| 3. 医療機関との相談                    | 1.6%  |
| 4. 医療機関検索                      | 3.3%  |
| 5. 医学医療情報検索                    | 18.0% |
| 6. その他の情報検索                    | 55.7% |
| 7. ホームページ掲載による自分または自分の属する組織の紹介 | 31.1% |

<http://www1.normanet.ne.jp/~ww103753>

<http://www1.coralnet.or.jp/tsu/>

<http://www1.normanet.ne.jp/~ww101926/>

<http://www1.normanet.ne.jp/~ww500008/>

<http://www1.normanet.ne.jp/~ww100090/>

兵庫脊髄損傷連合会

<http://www.ne.jp/asahi/net-oi/home/>

<http://www.nanbyou.or.jp/nanbyou/2soudan/advlist/adv1094.html>

<http://www.enjoy.ne.jp/~fujita97/>

<http://www1.normanet.ne.jp/~ww100027/>

<http://www.hata.ne.jp/kanzobbs/webbbs.html>

<http://www.nipponroche.co.jp/tokyokanzou>

8. その他 3.2%

E-mail

遠くの方の相談に乗ることが出来る。

医者からもらった薬について

メールなど

ML、おしゃべり、情報収集

電子メール、チャット

メール

ホームページを通しての交流

メーリングリスト

問4. 便利な点は何ですか。(回答は三つまで)

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. 最新情報がある。 | 55.7% |
| 2. 情報伝達が早い。 | 45.9% |
| 3. 情報収集が簡単。 | 62.3% |

- 4. 情報が豊富 45.9%
- 5. 好きな時に使える。 59.0%
- 6. 安価である。 9.8%
- 7. その他 1.6%

文字情報での情報が簡単に入るため

自分なりに情報整理が効く

全国的な検索が可能

ファイルの共有

療養上の情報の共有

住んでいる場所に関係なく、様々な人と交流が出来る。

問5. 問題点は何ですか。(複数回答)

また行っている対策があればお教えてください。

- 1. 個人情報が漏れる心配がある。 8.2%

対策：(以下4項目のパーセンテージは1.に○をつけた人に対する割合)

1. 個人情報は送らない。 31.1%

2. 名前など個人を識別できるデータは付けない。 23.0%

3. 暗号化して送る。 8.2%

4. その他 6.6%

- 2. 掲載された情報が正確であるかどうか不明である。 9.8%

対策：(以下4項目のパーセンテージは2.に○をつけた人に対する割合)

1. 厚生省などの公的機関のデータのみを使う。 24.6%

2. 大学や研究機関などの信頼できるデータのみを使う。 26.2%

3. 電話やFAXなどで裏付けをとる。 13.1%

4. その他 8.2%

確認行為

検索で他の情報も集めて評価する。

複数のソースに当たる

他の情報(書籍や医療相談会)と付き合わせる

他の情報も集めてみる。また他の人との情報交換の中で判断する。

- 3. その他の問題 6.6%

対策：

情報量(サイト)が多すぎて、検索に時間がかかる